

つくろう、未来を。
つくろう、素材で。

2021年1月6日
愛知製鋼株式会社

2021年 社長年頭挨拶 ～アフターコロナからの更なる飛躍へ、Aichi Wayでの“大変革”！～

<藤岡社長年頭挨拶 要旨>

皆さん、新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり、新たな決意と共にご挨拶させていただきます。

1. 環境が一変した2020年

2020年は、コロナ禍で安全・健康こそが社会と経済の基盤だと気づかされた年でした。ウィズコロナの「新たな日常」に全社一丸で適応するとともに、この学びを活かし「新しいビジネス様式」の定着も進みました。業界内でも、想定を上回るスピードで車の電動化が進み、基幹事業である特殊鋼の生産量は少しずつ減ることが予想されます。このような大きな変化の中でも年輪的成長を続けるため、2030年ビジョンに基づく“大変革”をスタートさせました。

2. 2021年の取り組み－2030年ビジョン～Company of Choice Globally～の実現－

ESG経営実践のため、SDGsに代表される社会課題解決を目的に据えながら、全員参加、安全第一で収益力強化に取り組み、社会と私たちが共通の価値を追求・創造していきます。

(1) アフターコロナからのV字回復と真の限量経営での基盤強靱化

全社一丸の限量経営を推し進め、生産量の増減に関わらず確実に利益を生み出せる、弾力性のある生産体制を築きます。そのためにも、全員参加で品質管理や設備保全に取り組みながらトヨタ生産方式を確実に実践し、原価低減や更なる工程改善につなげていきます。

(2) 大変革期を生き抜き、社会の持続的成長に貢献する事業化の推進

引き続き、車の電動化・自動運転への貢献を軸としたCASEへの対応や、人々の生活や環境保全を見据えた、SDGsに貢献する事業の早期ビジネス化を推進していきます。

(3) グローバルでの連結収益力を磨く

アイチグループの枠にとらわれない聖域なき“Home & Away”を検討し、グループの垣根を超えた連携で、単なる足し算以上のシナジー効果による企業価値向上を目指します。

また、中国が「鉄鋼強国」として急成長を遂げていますが、我々はインドのバルドマン社との資本提携・技術支援に代表されるように、積極的に外部のパートナーと手を組み、グローバルでの品質・コスト競争力を向上させていきます。

(4) 明るく、風通しの良い職場に向けて

上司と部下の風通しの良いコミュニケーションを通じ、安心な職場づくりを実現します。上司が部下に真摯に向き合い、PDCAに沿った仕事の進め方を支援することで、部下の問題解決能力を向上させ、成功体験の積み重ねによる成長を促進します。また、ダイバーシティや65歳現役社会への取り組みを推進し、誰もが全力を発揮できる職場づくりをサポートします。

3. 皆さんにお願いしたいこと

ここ2、3年が、あらゆる意味で当社の将来に向けた正念場。そして今年は、2030年ビジョン達成に向けた始まりの年です。力をひとつに、最高のスタートを切りましょう！